Product name = Common

Features＆Functions（Ⅱ : DT Service）編

TOKIWA-PF3  
Ⅱ.Ⅶ Scan Service  
(ScanToSMB)

*Ⅱ.Ⅶ.Ⅴ.Ⅴ*

*D2.0.0*

＜改訂履歴＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| K版 | 改訂日 | 改訂者 | 項目 | 理由/内容 |
| K1.0.0 | 17/5/12 |  |  | TOKIWA-V2向け初版作成 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

[Product name = Common 1](#_Toc206572311)

[Features＆Functions（Ⅱ : DT Service）編 1](#_Toc206572312)

[0. ScanToSMB Overview 2](#_Toc206572313)

[1. システム構成 2](#_Toc206572314)

[1.1. デバイス動作条件 2](#_Toc206572315)

[1.2. ネットワーク環境 2](#_Toc206572316)

[1.3. 対象クライアント 2](#_Toc206572317)

[1.4. 設置 2](#_Toc206572318)

[1.4.1. デバイスの設定 2](#_Toc206572319)

[1.4.2. PC設定 2](#_Toc206572320)

[1.4.3. 提供形態 2](#_Toc206572321)

[2. 動作 2](#_Toc206572322)

[2.1. 起動条件 2](#_Toc206572323)

[2.2. 動作条件 2](#_Toc206572324)

[2.3. 基本的な操作と動作 2](#_Toc206572325)

[2.4. 転送ファイル名 2](#_Toc206572326)

[2.5. 状態表示 2](#_Toc206572327)

[2.6. 制御 2](#_Toc206572328)

[3. 機能詳細 2](#_Toc206572329)

[3.1. 多言語対応について(PGS2048SGP0342 対応) 2](#_Toc206572330)

[3.1.1. 利用する言語セットと禁則 2](#_Toc206572331)

[3.1.2. 制限事項 2](#_Toc206572332)

[3.2. 分散ファイルシステム(DFS)環境について 2](#_Toc206572333)

[3.2.1. 対応OS 2](#_Toc206572334)

[3.2.2. 制限事項 2](#_Toc206572335)

[4. システムデータ 2](#_Toc206572336)

[5. 例外処理 2](#_Toc206572337)

[6. ログ・レポート 2](#_Toc206572338)

[6.1. デバイス設定リスト 2](#_Toc206572339)

[6.2. ジョブ履歴レポート 2](#_Toc206572340)

[6.3. エラー履歴レポート 2](#_Toc206572341)

[7. 注意制限事項 2](#_Toc206572342)

[8. 未解決事項と課題 2](#_Toc206572343)

[9. 機種間相違点 2](#_Toc206572344)

[10. 改定記録 2](#_Toc206572345)

[10.1. 詳細な改定記録 2](#_Toc206572346)

[10.1.1. K1.0 → K1.2.1 2](#_Toc206572347)

[10.1.2. K1.2.1 → K1.2.2 2](#_Toc206572348)

[10.1.3. K1.2.2 → K1.4.0 2](#_Toc206572349)

[10.1.4. K1.4.2　→ K1.4.3 2](#_Toc206572350)

[10.1.5. K1.4.3　→ K1.5.0 2](#_Toc206572351)

[10.1.6. K1.5.0　→ K1.5.1 2](#_Toc206572352)

# ScanToSMB Overview

本書では、ScanToSMBサービスの概要を記述し、プロダクトの開発管理、開発、評価を行う関係者に、ScanToSMBサービスに関する共通機能情報を提供する。

< 機能概要 >

本サービスは、IITで読み込んだ画像データを、ネットワーク（SMBプロトコル）を介してデバイス外部に転送する機能である。

ネットワーク環境を対象としており、ローカルインタフェース（IEEE1284 etc.）はサポートしない。また、デバイス内部のSMBフォルダ等についてもサポートしない

<システム構成概要>

既存のSMB利用可能なPCを利用することで、他のサービスソフトウェアは必要とせず、デバイス単独で機能する。

< 主な用途 >

紙原稿を電子ファイルとして保存したりなど、ドキュメントスキャナおよびイメージスキャナとして、一般的なオフィス業務に利用される。既存のSMBサービスを利用することで、本サービスの為に特定のソフトウェア及び管理者を設ける必要がない為、比較的規模が小さなところでも手軽にスキャンイメージを利用することができる。

**ScanToSMB Service**

Scan Data Repository

**Server PC**



Scan Data Repository

**A部門**

**Device Scanner**

**Client PC**

デバイス内部の

『サーバアドレス帳』

を利用して送信先決定



パネルからアドレス入力して送信先決定

# システム構成

本節では、システムの提供形態および構成する各サブシステムの動作条件を記述する。

## デバイス動作条件

「FF ScanToFTP」参照

## ネットワーク環境

システムが動作するネットワーク環境を以下に示す。

＜Scanデータ転送＞

デバイスでScanされた画像データを指定したPCへ転送する。（デバイスとPC間は、SMBプロトコルを利用する。）

* データリンク層 ： Ethernet、TokenRing（MNのみ）
* トランスポート/ネットワーク層 ： TCP/IP, NetBIOS
* 上位プロトコル ： SMB

DMP2007-1以降IPv6に対応する。

## 対象クライアント

FF 「C 2-7-2-3-A1 ScanToPC 対応OS」に記載のOSを動作対象とする。

## 設置

本節では、Scan to SMB機能を利用するための設置手順を記述する。

設定には大きく

* デバイスの設定
* PC設定

がある

### デバイスの設定

＜設定パラメータ＞

* SMBクライアントポートをON
* TCP/IP関連項目の設定 (必要がある場合)

設定するTCP/IPパラメータの詳細は｢ホストインタフェース編｣ TCP/IPの項を参照。

### PC設定

＜設定パラメータ＞

Windows系OSの場合、「共有フォルダ」の設定で、転送先ディレクトリを書き込み可能にしておくこと。

### 提供形態

デバイス機能：

適用モデルの標準ROMに実装される。

# 動作

ここではScanToSMBサービスの動作について記述する。

## 起動条件

以下の条件の全てを満足する場合にScan to SMBサービスが起動可能となる。

1. SMBクライアントポートが有効になっている。
2. Scan機能設定のシステムデータが有効になっている。
3. ~~ScanToSMBサービスのシステムデータが有効になっている。~~

## 動作条件

SMBの動作条件は次の通り。

* SMB署名について(PGS2055SGP950対応)

SMB転送においてはSMB署名に対応する。

これにより

* ActiveDirectoryのDomainControllerへScanToSMBでファイル転送が可能となる。
* また、セキュリティポリシーで署名設定が有効にされたPCに対しSMBを用いてファイル転送可能である。

(ただし、導入時期はT.B.D)

## 基本的な操作と動作

『Distribute Scan Common Function』参照。

## 転送ファイル名

『Distribute Scan Common Function』参照。

## 状態表示

『Distribute Scan Common Function』参照。

## 制御

『Distribute Scan Common Function』参照。

スキャンジョブの多重度

すべての原稿を読み込みが終了したら、そのスキャン画像データのファイル転送が終了する前に、次のスキャンジョブを起動することができる。ファイル転送処理は同時に1つしか動作しない。(PGS0101SGPチーム要求により)

# 機能詳細

ここでは、ScanToSMBサービスで使用する機能について記述する。

以下の項目がある。

* 送信先指定(ファイル転送)
* パス指定
* ファイルフォーマット指定
* ファイル名指定
* ファイル名生成ルール
* 転送先に既にファイルが存在していた場合の処理
* 名前変更のアルゴリズム選択
* ログイン名入力
* パスワード入力
* ドメインログイン (PGS2056SGP412)

詳細は『Distribute Scan Common Function』参照。

## 多言語対応について(PGS2048SGP0342 対応)

DMP5以降のプロダクトではSMBで多言語対応を行う。

### 利用する言語セットと禁則

DMPXI-1c以降は、Unicode(UCS-2)で通信するため言語セットの概念はなく、Unicodeで表現できる文字セットはすべて処理可能である。

（DMPXI-1c以前)

機械管理者設定の表示言語設定に対応した文字セットを用いる。

言語セット、表示言語、禁則についてはAppendixを参照すること。

### 制限事項

（DMPXI-1c以前)

下記条件の場合、すべてのSMB転送パラメータは、ASCII指定時のみを動作保証する。

* パネルからのパラメータ指定において、機械管理者設定の表示言語とカジュアルオペレータの表示言語設定に対応する文字セットが異なっている場合。
* PGS1028SGPからのパラメータ指定において、Webブラウザの文字セットと械管理者設定の表示言語に対応する文字セットが異なる場合。
* Service Softアプリケーションからのパラメータ指定において、動作しているWindowsの文字セットと機械管理者設定の表示言語に対応する文字セットが異なる場合。
* 指示書によるSMB転送ジョブ要求において、機械管理者設定の表示言語に対応する文字セットと指示書の記述言語が異なる場合。

## 分散ファイルシステム(DFS)環境について

分散ファイルシステム（Distributed File System：以下DFS）環境下でのSMB転送に対応する。

DFSは、1つの仮想的な共有フォルダのツリーを用意し、その下にさまざまな場所に設置しているサーバなどを統合して、1つのサーバであるかのように見せるための技術である。

詳細は『Distribute Scan Common Function』参照。

### 対応OS

* Windows2003 Server
* Windows2008 Server

### 制限事項

SMB Clientライブラリ仕様書の「2.10節　注意制限事項」を参照。

# システムデータ

ScanToSMBサービスで利用するシステムデータは以下の通り

<<ScanToSMB機能>>

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | 設定方法 | デフォルト値 | 設定範囲/備考 |
| SMBクライアント | KO | パネル | 起動しない | 起動する  起動しない |
| ~~スキャン機能設定~~ | ~~KO~~ | ~~パネル~~ | ~~起動する~~ | ~~起動する~~  ~~起動しない~~ |
| ~~ScanToSMBサービス~~ | ~~CE~~ | ~~パネル~~ | ~~起動しない~~ | ~~起動する~~  ~~起動しない~~ |
| SMB転送時の書き込みデータサイズ(PGS2048SGP8847/PGS2049SGP5269) | CE | パネル | 65536(byte) | 1～65536(byte) |
| SMB通信のタイムアウト値(PGS2049SGP5177) | CE | パネル | 30(sec) | 1～600(sec) |

# 例外処理

『Distribute Scan Common Function』参照。

# ログ・レポート

デバイスが提供するレポート出力機能のうち、ScanToSMB機能に関する主な仕様を記述する。

詳細は、『Report Service』参照。

注記： 本章の内容と『Report Service』の内容が異なる場合は、「Report Service」の内容が優先される。  
特に表示項目や表示内容として本章で記述される文字列は、実際の文字列とは必ずしも一致しない。  
正しい文字列は、『Report Service』参照。

## デバイス設定リスト

ScanToSMB機能が利用する以下のプロトコルの起動状態が記述される。

* SMBクライアントポート： ON/OFF
* ~~ScanToSMBサービス： ON/OFF~~

## ジョブ履歴レポート

『Distribute Scan Common Function』参照。

## エラー履歴レポート

SMBサーバへの画像データ転送中に以下のエラーが発生した場合、CEログにエラーコードがロギングされる。

詳細は『Distribute Scan Common Function』参照。

# 注意制限事項

PGS2056SGP412：ScanToSMBにおけるドメインユーザの完全対応はHagi以降のプロダクトへの導入となる。

# 未解決事項と課題

* Sambaのサポート

技術検証出来次第サポートする方向で対応中

# 機種間相違点

本章の目的は、各プロダクトに、Common-FFを適用するにあたり、本文を参照することなく差分を判別可能とすることである。

現時点で機種間の相違はない。

# 改定記録

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日付 | 名前 | 内容 |
| 17/5/12 |  | K1.0.0作成 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

## 詳細な改定記録

### K1.0.0 → K1.x.x

| 章番号 | 項目見出し | 内容 |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  |  |  |